

しもつけ

学校だより

Vol.13 祇園小学校

所在地 下野市祇園二丁目 21 番地 3

電話 44-5002

教育目標(めざす児童像)

新しい時代に共によりよく生きようとする、
心身ともに健康で知性に富み、
情操豊かな子どもの育成

○健康で明るい子 ○進んで学ぶ子 ○心の豊かな子

学校長 田中英男 学級数 19 クラス

児童数 569 名 職員数 34 名



祇園小学校は、「グリーンタウンしもつけ」の開発とともに誕生し、開校 23 年目をむかえました。保護者や地域の皆様と教職員が手を携え、未来を担う子どもたちを育てるために日々教育活動を積み重ねています。平成 22 年度は、「自ら考え解決する子どもの育成」を学校課題に掲げ、4 つの重点課題に取り組みながら、その具現化に取り組んでいます。今回はその取り組みのいくつかをご紹介します。

学校経営の重点化事項① 学力の保障

本校では、平成18年度から、児童相互の聴き合い学び合うかわりを育てることを重視した話し合い活動の充実を通して、児童の考える力を育成することをめざし、すべての教師が授業を公開しながら、研究を進めてきました。

平成19年度からは、宇都宮大学スクールサポートセンターから先生を招いて、授業研究を進めています。子どもたちの考えを深める力が着実に向上しつつある手応えを感じています。昨年度からは研究教科を国語科に絞り、さらなる深化を目指しています。



学校経営の重点化事項② 心の教育の推進

心の教育の基本として、「あいさつ運動」を推進しています。お互いが気持ちのよいあいさつができるよう、日々指導をする他、児童会が中心となり、上級生が朝、昇降口前に立って、あいさつを呼びかける活動に取り組んでいます。

努力の甲斐あって「子どもたちのあいさつがよくなりましたね」というお褒めの言葉が少しずつ届くようになってきました。さらによくするように、そして子どもたちの心の成長へとつながっていくようにがんばりたいと思います。



学校課題「自ら考え解決する子どもの育成」

学校経営の重点化事項③ 安全・安心な学校づくり

学級経営の充実に努めるとともに、誰もが自信をもって発表できるように「聴き合うかわり」を大切に授業実践を心がけ、児童一人ひとりにとって教室が安心できる場となることを目指しています。また、毎日の登下校時には、緑色のベストを着用した多くの保護者や地域の方々「スクールガード・ボランティア」として、子どもたちを見守ってくださることが、祇園小の自慢です。今後も、安心・安全な学校づくりに、保護者や地域の皆様としっかり連携して取り組んでいきます。



学校経営の重点化事項④ 教育環境の整備

よりよい教育環境を整えるために、朝の読み聞かせを始めとして、地域のボランティアの方々の力を積極的に借りています。1年生の生活科ではグリーンクラブのお年寄りをお招きして、昔遊びを教わる活動を行っています。また、6年生の総合的な学習の時間では、様々な職種で活躍している方々から仕事の内容や喜び、苦勞などについての話を伺う「その道のプロに話を聴く会」を毎年行っています。昨年度は 10 名の方を講師にお招きし、6年生が自分の将来について考えるキャリア教育の貴重な機会となりました。開催に当たっては、保護者や市の生涯学習情報センター、しもつけロータリークラブなどのご協力をいただいています。

